

2021年度 10年目のつばさ共同保育園よろしくおねがいします

仲嶺 真弓

2021年度は、園児89名、職員36名でスタートです。

園長の仲嶺です。「園長」と呼ばれることが多くなりましたが、本当は「仲ちゃん」と呼ばれたいというのが本音ではあります。けれど、どうしても呼べない…という方もおられると思うので、呼びやすい呼び方で大丈夫です。気軽に声をかけていただければと思います。

今年度は8名の新入園児を迎えます。新たに出会う人も含め、大人も子どももお互い学び合える関係を育てていきたいと思っています。2020年度卒園児クラスの最後の懇談会で、保護者の方からこんなコメントをいただきました。「入園時はちょっと変わった保育園と紹介されてどんな所？と思いながら来たのがついこの間のよう。なのに卒園までここで世話になりました。」 「卒園間際になって、やっと“共同”ってこういうことかも…と感じられてきたかもしれない」 同じようなことを数人の方が語っておられたこのコメントがとても心に残りました。

今年度、つばさ共同保育園は開園して10年目を迎えます。開園当初から、子どもも大人も安心して育ちあえる保育園でいられるよう精進していきたいという思いは今も変わりません。地域の方にも見守られながら成長していく子どもたちとともに、職員一同、保護者とともに日々何気ない会話を重ねながら共に学びあえる関係を築いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。 それでは、まずは運営に関することなどをお伝えします。

🌸2020年度卒園児の保護者から卒園の記念品、2～3歳児も利用できるストライダー（ペダル無し自転車）を3台いただきました。

「つばさっ子」は、毎月1日に発行しています。1ヶ月間の園での子どもの様子を知らせるお便りです

つばさっ子を通して、ぜひこんなことを知ってください

- ①子どもの世界（大人の感覚では理解不可能なことを子どもはやらかします）、子どもの発達の特徴（子どもにはその年齢の発達の特徴があります）を理解することで、誤った見方、過度な心配、不安が解消でき慌てることなく子どもに対応することができると思います。
- ②わが子理解、よその子理解をしてもらう = わが子の特徴を知るとわが子との付き合い方がわかります。他人の子どもを知ることで偏見が克服できます。子どもは色々な影響を受けながら成長します。もちろん親の影響が大きいと思いますが、友達や保育士や周囲の大人の影響も大きいのです。子育てを親だけで抱え込むと確実にしんどくなります。特にわが子ながら手がやける、この子には疲れると感じている保護者の方は「みんなと一緒に育ててもらおう」と考えてみて下さい。子どもはみんな一人ひとり違います。だから保育士も対応に悩みます。職員と保護者は子育てのパートナーです。支え合って子育てしていきましょう。そのきっかけづくりのための『つばさっ子』です。大いに活用していただければと思います。疑問、質問、感想、呟きなど、ぜひ聞かせてください。おまちしています。

園内における子どもの写真撮影について

保育中の子どもの写真は、職員が撮影したものを年1回(2回に分けるか調整中)、カンガルーの会(保護者会)写真部のサポートの元、Googleフォトを通じて配信しています。あくまでも保育の記録用として撮影した写真で、配信用に撮影したものではありませんので内容や枚数については偏りがあります。また、クラス全員の写真をクラスのご家庭に配信するので、自分の子どもの写真が他のご家庭にも閲覧できる状態で必要な写真だけダウンロードする形式となります。またほかのクラスの写真に写りこむこともあります。どうぞご理解のほどよろしくお願ひいたします。

何か気になることや質問は事務室にお尋ねください。

